

第4回 高1英語

総評

今回の試験では、リスニング、文法・語法、英作文、長文読解など多様な形式を出題し、基本的な文法・語法の知識から表現力・読解力・記述力がどの程度ついているかを試すことで、総合的な英語力を測っている。今回は特に大問4の英文が長く、小説ということもあり、読み慣れていない人は時間配分に苦労しただろう。制限時間に対する演習量が多く、厳しい内容になってはいるが、プレステージを受験する難関大の志望者であれば、高校1年生のこの時期に、これだけの問題に対応できる実力をしっかりつけてほしい。また、模試なので得点差がはっきり出るよう、設問によっては部分点を排除し、かなり厳しく採点している。得点を見て落ち込んでしまうかもしれないが、これから何を重点的に復習すれば自分の英語の総合力・得点力が伸びるのかを知ることのできる絶好のチャンスなので、大問ごとの出来や誤答の内容をきちんと確認して、今後の学習につなげよう。

問題別講評・採点基準

1 リスニング

長い英文の聴き取りに慣れていない人は、メモを取るタイミングに苦戦しただろう。放送前に設問に少しでも目を通し、注意して聞くべきキーワードやポイントをあらかじめ予測しておく取り組みやすい。聞き取りにくかった箇所については、解答解説の放送内容を音読して復習しておこう。

問題A

英問英答形式の設問で選択肢がやや長いものもあるため、聴き取る力以外に速読力も求められる出題となった。人物名がいくつか出てくるので、誰の考え・行動なのかを正確に把握する必要があった。

(2) 数字に関する問題で、センター試験と同じく、聴き取りだけでなく計算を要するものとした。月日の正しい理解も必要なので、情報の整理に時間をとられた人が多かったようだ。

問題B

「集中力」に関する説明文。concentration という単語がいたるところに出てくるのでテーマはつか

みやすかったと思うが、設問のレベルは高めに設定したので、満点は取りづらかっただろう。

Part 1

(1), (2) は特に、選択肢が複雑で、一読するとどれも正しいことを言っているように見えるため、吟味に時間がかかってしまったか。

Part 2

ディクテーション問題。スペリングミスや時制のミスは、単語の抜けや聞き間違い同様、配点分の減点とした。ディクテーションでは、語彙や文法の知識で減点が避けられる場合があるので、文法には自信がある人もここで間違えていた場合は見直しが必要である。また、既知の単語でも、音声ではうまく聞き取れないものについては音読の練習もすること。

(1) if you *will* relax とした誤答もあったが、条件を表す副詞節なので、will は使えない。feel relaxed が正しいが、SVC の C にあたる relaxed を relax という原形にしてしまい、過去分詞形の語尾の -ed の [t] の音を聞き逃した人が多かった。

(2) この設問も品詞にまで意識を向けられたかがポイントの1つだった。make a までは書けていても、difference を書けた人はごく一部であった。different とした誤答が大半だが、動詞の目的語であり、直前に冠詞 a があることから、続くのは形容詞ではなく名詞であることに気づいてほしかった。

2 文法・語法

基本的な問題を中心に、用法の詳細な理解が求められる出題とした。時制、不定詞、使役動詞、関係詞、否定、間接疑問など広範囲の文法事項に加えて、イディオムに関する設問や会話でよく用いられる定型表現も出題している。文法・語法の知識に加えて、文脈の把握が必要な設問も複数あったことに注意。

3 英作文

この大問では、語彙・文法の正確な知識と、それらを組み合わせて、条件に合った内容を英文で正しく表現する力を問うた。

A 整序英作文

スペリングミスを含め1語でも間違えているものは配点分減点とした。英作文の基本である、「主語を決定する力」を確認することを最大の目的とした。

(1) あえて文法書に出てくる例文のような文にしたので、全員に正解してもらいたかった1問。ここ

で間違えた人は、文法事項の見直しをする際に、「結果」を表す to 不定詞」とだけ覚えるのではなく、例文ごと覚えよう。

(2) take care という組み合わせは作れたが、先頭にくる saying が、直前の mother ではなく letter を修飾するという点が見抜きにくかったか。

(3) made me nervous から、主語が thought になることに気づけたかがポイント。mere の意味を知らなくて、これが主語だと勘違いした人もいるかもしれないが、日本語をきちんと読めば、「私」を主語にできない以上、「人前で話すと考えること(だけ)」を主語にする必要があると理解できたはず。

(4) 'have no choice but to +動詞の原形' と '付帯状況' を表す with の両方の知識を問う問題。

B 条件付き英作文

会話文の一部を埋める形式で、イラストの状況や空所前後の文のつながりを考えて書くことが条件。採点は、内容面と文法・語彙の面から減点法で行った。特に内容面は例年より厳しく採点したため、得点が残らない人が多かった。

(1) 空所直後の I am. Anything wrong? という返答に自然につながる内容で、かつ、イラストの状況(この会話の話題の中心となっている、エネルギーの無駄遣いに直結するもの)を答える問題。条件の多い設問のため、イラストからわかる状況であっても、「水を出しっぱなしにして無駄にしていること」に言及できていないものは(-8)とした。

(2) 内容面でのポイントは2つ。① エネルギー節約の方法として説得力があること、② 具体的なかつ身近な取り組みであること。それぞれ抜けていたら(-5)とし、内容面で減点した後に、文法・語彙の誤りを各(-1)とした。「イラストの内容とは無関係の内容」という指示により、(1)とは異なる語彙・構文の表現力を試す出題とした。このため、歯磨きの際の水の利用に限らず、water に関わる内容を書いたものは一律減点しており、今回の模試全体を通して最も厳しい1問となった。英作文では、スペリングミスや文法面でのケアレスミスをしないうように、書き終えたら必ず見直そう。

C 和文英訳

(1), (2) とともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。細かい文法ミスが目立ったので、短時間で見直しまで終える練習をしておこう。

(1) ○そんな場所での清掃は危険だからやめるよ

- う ……4点
- 何度言っても ……2点
- まったく聞き入れません ……2点
- (2) ○このような善意のおかげで ……3点
- 私たちが気持ちよく暮らせている ……2点
- ことを決して忘れないようにしたいと思います ……3点

4 長文読解

タクシー運転手との口論を、幼い息子が収めてしまう場面をユーモラスに描いた物語の一部。細かい描写を含む状況や、登場人物の心の動きを理解できているかを問うた。

(1) 和訳問題。couldn't have cared less を「…できなかった」と誤訳した解答が散見された。父親の様子との対比・話の展開から、息子の様子をイメージして、知らない表現が出てきた時に意味を推測できるようにしてほしい。

5 長文読解

「情報化社会において、情報とは理解しやすいものに変換できて初めて役に立つ」という主張を述べた論説文。

(1) 和訳問題。以下に示すパートに分け、減点法で採点した。

- They の指す内容 ……3点
- transform what life throws at them, ……4点
- rather than just taking it as it comes ……3点

構文はさほど複雑ではなく、使われている語彙も難しいものはないが、抽象的な内容であるために適切な訳語の選択ができていないものが多かった。

(3) 含めるべきポイントはそれぞれ2つ。① the hand writers ... as the typists (4点) / scored twice as well (5点)、② took away their notes as soon as it (= the lecture) was over (5点) / so students couldn't study on their own (4点) ②は盛り込むべきポイントが他にもあるように思えるが、制限字数内で必要なポイントのみを抽出してまとめることができるかどうかで差がついた。

(4) 「書物に関して」という条件があることに注意したい。explain the concepts to someone の部分を的確に答えればよい。force yourself to put it down を「(書物を)置く」ではなく「書き留める」などと誤訳したものは(-1)とした。